

CT 画像における骨転移検出支援システムの開発に関する探索的研究

研究の意義・目的について

骨転移は悪性腫瘍が発生した場所から全身の骨に広がるもので、痛みや神経障害などの症状を起こすことがあります。骨転移は悪性腫瘍の患者の方々の余命、生活の質に大きく影響するので、早い段階で見つけて対応することが重要です。この研究はCT(コンピュータ断層)検査で骨転移を医師が発見することを補助する解析システムの性能を確かめ、改善を行うために行われます。

研究方法

開発中の骨転移検出支援システムを使用して、当院で撮影したCT検査を解析し、医師の診断した結果と比較することで骨転移の検出性能が十分に得られているかを検証します。

予測される利益・不利益について

この研究はすでに行われているCT検査結果を使用するもので、対象となった患者様に直接生じる利益はありません。また新たな負担などの不利益もありません。

個人情報の保護について

研究にCT画像を使用します。使用されるCT画像データには患者さんの氏名、生年月日、住所など個人を特定できる情報は含まれません。その他にも個人を特定できる情報は一切収集しません。研究の途中過程においてデータは研究担当者以外に漏れることがないように細心の注意を払って取り扱います。

患者さんへのお願い

研究にあたり患者様に直接の同意は頂かず、この掲示によるお知らせをもって同意を頂いたものとして実施いたします。研究内容の趣旨をご理解いただき、研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

費用について

この研究に関して、患者さんへ追加でご負担いただく費用はありません。

研究内容の開示について

研究計画書や、研究に関する資料は、他の患者さんの個人情報保護に抵触しない限り閲覧が可能です。

研究結果の公表について

本研究の結果は、骨転移検出のための技術開発に使用されます。本研究の結果の一部は学会および学術雑誌で発表する予定です。

お問い合わせ先

天理よろづ相談所病院 放射線部 久保 武 (研究責任者)
電話 0743-63-5611